

11月 給食だより

2024年10月30日
町田市立
鶴川第二小学校
No.7

11月の予定と献立内容

11月 8日(金) 文化財ウィーク：まっくう献立

11月3日は「文化の日」です。この日には文化を称える行事や、日本各地で芸術祭などが開かれます。東京都では10月～11月を「東京文化財ウィーク」として、様々な文化財(大切に伝えられてきた文化的な財産)が公開されています。実は町田市でも、縄文時代の「土器(土でできた食器やお鍋)」や「土偶(お祭りなどで使った土でできた人形)」がたくさん見つかっているのを知っていますか?みなさんに「縄文のまちだ」を知ってもらうために、8日の給食に町田市の指定有形文化財の土偶をモデルにした、「まちだ縄文キャラクター『まっくう』」の味つけのりを出します。

「まっくう」のモデルとなった土偶は、小山町にある田畑東遺跡で見つかった「田畑東遺跡出土中空土偶」です。約3400年前に作られ、高さは約7cmです。町田市で見つかった中空土偶なので「まっくう」と名づけられました。

縄文時代を見に行くことはできませんが、「まっくう」を通じて何千年も前の縄文人の生活を感じてもらえたらうれしいです。



モデルとなった土偶

11月 19日(火) 食育の日：栃木県

栃木県



毎月、世界の料理や日本の郷土料理を紹介している食育の日。

11月は栃木県の料理を給食風にアレンジして出します。栃木県と言えば、「宇都宮ぎょうざ」が有名ですね。宇都宮でぎょうざが広まったのは、第二次世界大戦後、中国から帰国した兵士たちが現地のぎょうざを再現したことが始まりと言われています。19日の給食では、宇都宮ぎょうざをアレンジした

『ぎょうざドッグ』を出します。パンにぎょうざの具材をはさんで、チーズを乗せてオーブンで焼きます。また、栃木県は全国有数の「かんぴょう」の産地です。乾燥させたユウガオの果実から作られたかんぴょうは、食物繊維が豊富で、昔からお祝いの場でも使われています。今回は『かんぴょう入りのかきたまスープ』を提供します。

11月 22日(金) 和食の日献立

11月24日は、「いい(11)にほん(24)」という語呂合わせから「和食の日」に制定されています。日本の食文化である和食の良さを再確認し、次世代に伝えていこうという意味が込められています。給食でも日頃からご飯を中心とした和食の献立を基本に、旬の食材を使用し、「だし」のうま味を生かした献立を実施しています。22日の給食では、だしで炊いた秋の香りご飯にさばやわかめを使用したおかず、だしのうま味を味わえる汁物を出します。

11月 29日(金) FC町田ゼルビア応援給食

町田市をホームタウンとしているサッカーチーム「FC町田ゼルビア」は、2024年シーズンからJ1で活動しています。今シーズンも残すところ1か月を切りました。そこで、応援のために町田市の小・中学校で「FC町田ゼルビア応援給食」を提供します！鶴二小では、最終戦前日の29日に提供します♪詳しくは別添の資料をご覧ください。

給食を通して地産地消の良さを知ろう!

地産地消とは、地域で生産された農林水産物を、その地域で消費する取り組みです。学校給食では、地域でとれた「地場産物」を活用することで、地域の産業や食文化への理解を深め、地域への愛着を育むとともに、環境問題や食料自給率といった課題について目を向ける機会にしたいと考えています。

地産地消の良さとは？

新鮮な旬の味覚を
味わうことができる

作っている人の顔が
わかり、安心感が
得られる

地域内で資金が還元
され、地域経済の
活性化につながる

農業が活性化する
ことで農地が保全され、
景観の維持や洪水の
防止につながる

運ぶ距離が短くなり、
エネルギーやCO₂排出量
が削減でき、環境に優しい

エスディーゼース（持続可能な
開発目標）の達成に
貢献できる

給食食材の産地 (2024年10月)

品目	産地(都道府県名)	品名	産地(都道府県名)	品名	産地(都道府県名)	品名	産地(都道府県名)	品名	産地(都道府県名)
かぶ	東京	セロリ	長野	たまねぎ	北海道	白菜キムチ	町田	さば	北海道
キャベツ	群馬	にら	栃木	小松菜	東京・町田	柿	奈良	シルバー	ニュージーランド
きゅうり	埼玉	にんにく	青森	にんじん	北海道	ちりめんじゃこ	宮崎	ホキ	ニュージーランド・アルゼンチン
ごぼう	群馬	ねぎ	北海道・青森	赤パプリカ	静岡	もずく	沖縄	ます	ロシア
さつまいも	千葉		山形・栃木・千葉	大根	群馬・千葉	精白米	山形	調製豆乳	国産
さやいんげん	青森	ブルーベリー	町田	大豆もやし	栃木	もち米	山形	あおのり・きな粉	国産
さといも	埼玉	みかん	熊本	白菜	長野	とり肉	岩手・宮崎・青森	たけのこ	国産
しめじ	富山	もやし	栃木	ピーマン	町田	ぶた肉	宮崎・鹿児島	冷凍グリーンピース	国産
じゃがいも	北海道	りんご	長野・岩手	冷凍コーン	北海道	あかうお	アメリカ	マッシュルーム	国産
しょうが	高知		福島・山形	えのきたけ	長野	いか	ペルー	ねり梅	国産

あき た
秋の食べもの

ことわざクイズ

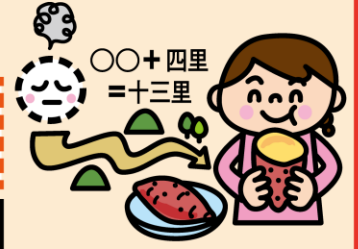


○に秋の食べものを書いて、ことわざを完成させよう！
下の絵と○の数、[]がヒントです。

Q1

○○よりうまい十三里

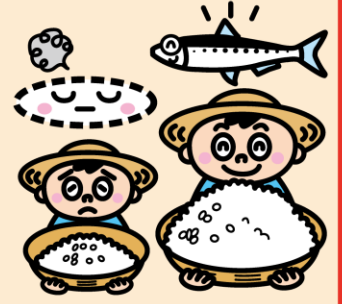
十三里は「さつまいも」を指し、○○よりもあまくておいしい、という意味。
「○○+より(四里)=十三里」と足し算になっている。
※一里は昔の距離の単位で、約4キロメートルのこと。



Q2

貧乏○○○に福いわし

○○○が豊漁の年は寒流が強くて夏の気温が低く、米が不作(貧乏)になり、
いわしが豊漁の年は暖流が強くて夏は暑く、米が豊作であることを意味する。



Q3

○○の煮えたもご存じない

○○が煮えたかどうか分からない、世間知らずの人のことを言うたとえ。



Q4

秋○○は嫁に食わすな

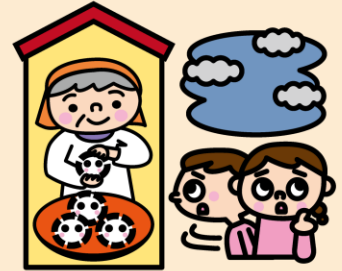
秋の○○はおいしいから嫁に食べさせたくないという意味と、○○は傷み
やすいから嫁には食べさせないと心配する、2通りの意味がある。



Q5

隣の○○○と遠くの夕立来そうで来ない

隣の家の人が作る○○○が口に入らないように、雨が降ってほしいのに遠く
の夕立(雨)はなかなか降らないことを意味する。



ヒント



こたえ Q1=くり(栗) Q2=さんま(秋刀魚) Q3=いも(芋) Q4=さば(鯖)※ Q5=おはぎ

※「秋なすは嫁に食わすな」ということわざもあり、似たような意味がある。

